安住寺だより

禅の心

第１４４号
発行　安住寺（年4回発行）
臨済宗南禅寺派
大分県杵築市大字南杵築379
〒873-0002　℡0978-62-2680
http://www.anjyuji.net
編集　矢野明玄
印刷　安住寺

信仰の目的は「成仏」すること

「成仏（じょうぶつ）」とは菩薩道（ぼさつどう）に生（い）きること

お彼岸になりました。お盆からひと月余りで又お墓参りをされるでしょう。ご先祖にとっては嬉しい限りです。お仏壇には、おはぎをお供えされたでしょうか。

お彼岸会は、ご先祖を偲び供養することも大切ですが、ご自身の修行を積む大切なご修行期間でもあります。六波羅密を行じ、この「此岸」より迷いの無い、お悟りの世界「彼岸」へ行きましょう。行く努力をしましょう。と言うのが目的です。信仰の目的は、彼岸に行くこと、仏心仏性を自覚し「ほとけ」の心で生きることなのです。

芭蕉は「今日彼岸菩提の種を蒔く日かな」と詠みました。菩提とはさとりの智慧のことです。悟りの実を結ぶ種を蒔く日と自覚したのです。

お釈迦様は「人には皆、尊い仏心仏性がある」とお説きになりました。この仏心・仏性のまま生きましょう。この生き方こそが「成仏」することなのです。死んでからでは遅いのです。生きながら**ほとけ**になるのです。

今日彼岸　菩提の種を　蒔く日かな

その種が芽を出し根を張り大きく成長するには、色んなお世話が必要です。自然や周囲の支えがなければ成長しませんが、何よりも大事なのは、その人の努力です。修行なのです。その修行の中味が六波羅密であり、特に集中して取り組みましょうと言うのがこの彼岸の期間です。

仏教を学ぶ人、修行をする人を菩薩と呼びます。修行には色々な道があります。読経、坐禅、善行等など。現在、当寺では坐禅・写経・ご詠歌観音講などの行事を毎月行っています。十～二十名が参加しています。坐禅参加者の半数は、檀家外の人です。折角の機会ですので、彼岸中だけでなく、毎回来れなくても参加してみて下さい。一緒に菩提の花を咲かせましょう。菩薩道に生きましょう。生きながら成仏しましょう。

台風十八号に因る風水害が各地で発生しました。被災された方々に心からお見舞いを申し上げます。

行事予定

9月23日	敬老会（合掌会主催）
10月8日	独秀流ご詠歌
10月17日	ご詠歌・観音講
10月23日	写経写仏の会
11月7日	独秀流ご詠歌
11月18日	ご詠歌・観音講
11月21日	写経写仏の会
11月23日	合掌会バザー
11月28日	合掌会奉仕作業
12月7日	独秀流詠歌（納会）
12月17日	観音講（十時より）
12月20日	写経写仏の会

坐禅会・毎月第二、第四土曜日・6時半

都合により、変更することがあります。

チャリティーバザー

第17回
（隔年開催）

日時　・　11月23日（土）午前10時より
会場　・　安住寺境内（雨のときは本堂内）
主催　・　安住寺合掌会

合掌会主催のバザーも17回目になりました。今年もご協力をよろしくお願いします。

今年も東日本大震災の復興を応援する意味で、福島の**喜多方ラーメン**を販売します。７月に区長会の視察で喜多方へ行ってきました。（写真：喜多方ラーメン館にて）

安住寺と閻浮檀金観音

安住寺観音堂には、閻浮檀金観音が祀られております。この閻浮檀金観音は、その昔京都岩清水八幡宮の分霊を当地に勧請する際、その神輿守護のため授かったといわれる。

この夏、岩清水八幡宮を訪れた。木津川・宇治川・桂川が合流し淀川を成す地を望む男山に鎮座している。

古来、京都・大阪・奈良を結ぶ水陸交通、政治、経済、軍事上の要衝とされた男山の東中腹には霊泉「岩清水」が湧出し、その近傍には行基開創の岩清水寺が在ったといわれている。

南総門前の手水舎には、

【岩清水　つきぬみいつを　とこしえに　くみて　あがめむ　神の御光】

と掛けてあったが、秘仏閻浮檀金観音の御詠歌を連想させ、岩清水八幡宮と閻浮檀金観音の繋がりを感じた。

【慈しむ　巌の清水汲みてこそ　福寿も満ちて千代やまもらん】

秘仏観音御詠歌

今号では、改めて安住寺・秘仏閻浮檀金観音略縁起を紹介させて頂きます。

★秘仏閻浮壇金観音略縁起

安住寺秘仏観音は、印度ビシューギヤーマの閻浮壇金をもって作ったと言う観世音像三十三体の一つ。

花山天皇の寛和元年（９８５）京都岩清水八幡宮の御神体を、当地若宮八幡宮に御勧請の折、安宗律師が神輿守護のため宝蔵秘仏観音の尊像を授かり、八坂川河畔の小柏島に祀った。後にお堂を建て大安寺と称した。

ある時、観世音が安宗の夢に現れ「われ竜宮の化益に赴かんとす。わが空座に阿弥陀如来を安置すべし」と告げて、尊像は一夜のうちに　お隠れになりました。宗律師は、御告げどおり自ら阿弥陀如来を彫刻し、その後におまつりした。

その後六百有余年を経て、慶長元年（１５９６）杉原伯耆守殿、近松寺川にて御遊魚の折、奇しくも尊像がかかり、寺の秘仏ということがわかり急ぎ遷座され、殿様より田地の御寄付を賜つた。これより寺号を観音寺と改めた。

その後再び観音像は見えなくなり、正保二年（１６４５）の頃、たまたま六軒町の高橋某、魚釣の餌を掘っている時、砂の中から尊像を見つけ出し、松平英親殿御入国の際御公覧。信仰深い殿は、直ちに城内に岩観音を御相殿しここに安置した。

天和元年（１６８１）英親公と安住寺二世雪渓和尚とが、一夕霊夢を感じ「われ城内にあって結縁薄し、願わくば、廓外大安寺の古跡に移らば普く衆生を利益せん」と御告げがあり、一宇を建立する旨雪渓に伝えた。雪渓答えて曰く「希有なるかな、公とわが夢符合致したるが如し、公この意ならば速やかに御建立あってしかるべし」と。早速堂宇を造営し尊像を遷座したところ、不思議に岸下より清水が湧出した。

その後、松平重賢殿の発願で大門を造営し、武運長久、国家安全、五穀豊熟のため寺領を増加。しかも、秘仏たるが由に一般大衆が尊像を拝することができないので、幕府の許可を受けて三十三年を期し開扉することになった。

時代も移り、明治になって住職もなく堂宇もあれ、遂に観音寺は廃寺となった。明治十五年再興を試みたが成らず、安政五年の御開帳を最後に、秘仏は本寺である安住寺に移された。

目指すは観光県！

今月十四日、大分合同新聞に、《地域の魅力発掘へ》と題し、第二回「豊の国千年ロマン時空博」に向けた、集客プランを検討する夜学（勉強会）が日出町「的山荘」で開催の記事が出ていました。

国東・杵築エリアの勉強会の第二夜が安住寺を会場に開催される事となりました。

“こころほどける。紡ぎ人のもてなし。”をテーマに全三夜の日程で、第二夜にあたり、ゲストに宇佐市観光協会　小野辰浩氏を迎え「紡ぐ」プランの立案が目的のようです。

どんなプランが出てくるか、楽しみながら夜学に参加させて頂こうと思っております。

大分合同新聞（朝刊）　2013年（平成25年）9月14日　土曜日

地域の魅力発掘へ

日出町で第1回夜学

集客プランを検討

「新たな可能性を」

別府新聞
杵築新聞
日出新聞

石垣病院
☎(0977)66-7557

臨済宗青年僧の会研修会

八月八日、携帯電話の何時もとは違うアラームで、緊急地震速報が流れ、強い地震に備えるようにと警報がありました。震源地は奈良県とのことでした。皆さん覚えていらっしゃるでしょうか。幸いにも誤報でしたが、あの時皆さんは何をしたでしょうか？

私は、近くにいらした方と「地震が来るよ、大丈夫かな」と心配しただけで、特別に行動を起こすことはありませんでした。東日本大震災を経験した方ならどのように動いたでしょうか。

地震だけではありません。先日の台風十八号でも各地で被害がありました。本山・南禅寺も土砂の流入などで、一時拝観停止となりました。

「天災は忘れた頃にやってくる」は寺田虎彦の言葉といわれていますが、今回の研修会では、「災害は忘れる暇なくやってくる」〜守れる「いのち」・助かる「いのち」〜の題で、気象予報士・災害アドバイザーの花宮廣務氏の講演を拝聴するとともに、別府市消防署の救急救命士と消防士の方々による、心臓マッサージ、人工呼吸などの救急手当ての実践と、AEDの使用方法の実習を行いました。

かなり昔に応急手当の講習を受けた経験がありましたが、忘れていたことも多く再確認できました。

禅の教えは体験と実践を旨としています。地震・津波・台風いざ災害に見舞われた時に如何に行動できるか、頭の中でシミュレーションする だけでも重要なことだと感じました。

大震災後は車に家族が一週間過ごせる備えを常にしておく消防士の一人は、東日本大震災は思いますが、同じ職業柄と言っていました。職業柄と言っていました。小さい子供持つ親として責任も感じました。

《読者投稿》

「人生生涯　小僧のこころ」読んで
塩沼亮潤著（大峰千日回峰行大阿闍梨）
ペンネーム・ト部丈太郎

飽食の時代、何不自由ない物の溢れた世の中にあって、現代は深刻なストレス社会である。そんな時代にあって人間の原点を探り当てた。核心の書として一気に読むことができた。説得力があり、自身の若かりし駆け出しの時代を思い返した。感化され、一日一食減らし二食生活に取り組む。ことのほか食事がおいしく感じるようになり、戦後生まれ、幼少期の清貧生活が甦る思いで毎日を送っています。

原点を忘れないで常に挑戦、実践する日々が努力を結ぶことを忘れずにいたい。

☆皆さんも、何か記事を載せてみませんか？「禅の心」紙上コミュニティはいかがですか。

ダンマパダ

愚かな者は生涯賢者につかえても、
真理を知ることが無い。
匙が汁の味を知ることができないように。

「ブッダの　真理のことば　感興のことば」中村元

お盆回想

暑さも和らぎ朝晩は肌寒さを感じる今日この頃であります。今年のお盆から、長男玄悠が施食会・棚経にお勤めさせて頂きました。

６日間を回り、途中２日ほど愚図ることも有りましたが、何とか六十軒程をお参りすることができました。

子供心とは可愛いもので、疲れたと言いながら、読経が終わって「小僧さんだけ特別にねっ。」とお菓子を頂くと、あと一軒だけと言って、頑張ってくれました。

温かく見守って下さった皆様に心から感謝申し上げます。

わざわざ、玄悠を待っていて下さったお宅も沢山ありました。

来年はお伺いできればと思っております。

どうぞ、宜しくお願いいたします。

恒例夏の合宿

八月二十四・二十五日に、杵築少年剣道部の子供たちがお寺で合宿を行いました。

坐禅・読経・作務と短い時間の中で、剣道の稽古とは違った形で修養に努めました。一年生から六年間毎年参加の生徒は「今年の坐禅で初めてたかれて、嬉しかった」なんて子供もいました。

安住寺で、坐禅体験の希望があれば、随時受け付けております。お問い合わせ下さい。

忙しい空

金子みすゞ

今夜はお空が忙しい、
雲がどんどん駆けてゆく。

半かけお月さんとぶつかって、
それでも知らずに駆けてゆく。

子雲がうろうろ、邪魔っけだ、
あとから大雲、おっかける。

半かけお月さんも雲のなか、
すりぬけ、すりぬけ、駆けてゆく。

今夜はお空がいそがしい、
ほんとに、ほんとに、忙しい。

只愛山中閑　広石碩田先生画

色紙ご希望の方は、お申し出下さい。

平成25年9月16日を基準にした番付表です。

平成２５年度　長寿番付表　安住寺敬老場所

西	年齢	おすまい	御免蒙	東	年齢	おすまい
中村	97	西新町	横綱	松川	98	杉　山
河野	97	安岐町	大関	広石	97	日出町
上	95	座間市	同	藤原	96	西大内山
田代	95	城　山	関脇	木付	95	北九州市
熊澤	94	下　原	同	清原	94	日出町
大嶋	94	東広島市	小結	江藤	94	弓　町
中島	94	町田市	同	藤原	94	東大内山
石井	93	新　興	同	阿部	93	弓　町
清末	93	西下司	前頭１	中村	93	川崎市
伊藤	93	谷　町	同２	今村	93	日南市
河野	92	下　原	同３	高橋	93	西下司
阿部	92	西　上	同４	麻生	92	藤の川
古田	92	西大内山	同５	小田	92	西　上
江藤	92	東大内山	同６	平野	92	南台東
末松	91	鴨　川	同７	近藤	91	北九州市
井上	91	西大内山	同８	下司	91	錦　江
藤原	91	古　野	同９	渡邉	91	宗像市
宇都宮	91	藤の川	同10	工藤	91	東大内山
麻生	91	藤の川	同11	古庄	91	安岐町
阿部	90	西大内山	同12	木野	91	東下司
麻生	90	藤の川	十両１	木元	90	北　浜
柏屋	90	札ノ辻	同２	高橋	90	西下司
川野	90	永代橋	同３	廣石	90	宗　近
宗田	90	東下司	同４	前田	90	錦　江
桜木	89	宗　近	同５	藤原	89	東大内山
木付	89	北九州市	同６	清原	89	日出町
田椽	88	南台東	同７	梶取	88	別府市
麻生	88	藤の川	同８	石井	88	新　興

祝　ご長寿

米寿はまだ若い

今年の長寿番付です。昨年の番付表より８名の方が入れ替わりました。90歳以上の方が48名になりました。過去最多を更新中です。

今年百歳を超える方が全国で５４，３９７名にもなるそうです。４３年間連続で増加中と報道されていました。杵築市でも19名居られて最高齢者は、１11歳の方です。安住寺のお檀家には、百歳を超える方は残念ながら居られません。直前に亡くなられましたので今年は、東西の横綱が入れ替わりりました。

災害義援金の報告

8月までのお賽銭48,038円を加え、5万円を杵築市を通じて東日本大震災義援金としてお届けしました。今後とも支援を続けますので、ご協力をお願いします。これまでの累計額は、685，646円（内賽銭は294,225円）になりました。